

シンポジウム発表概要

青島市まとめ

【日時】平成 27 年 3 月 29 日 15 : 30～17 : 30

【会場】シャングリラホテル青島

2015「東アジア文化都市発展シンポジウム」が青島で開催

3 月 29 日午後、2015 東アジア文化都市・中国青島イベントイヤー開幕イベントの一つである「東アジア文化都市発展シンポジウム」が青島で開催された。2014 年東アジア文化都市に選ばれた日本・横浜市、中国・泉州市、韓国・光州市と 2015 年東アジア文化都市に選ばれた日本・新潟市、中国・青島市、韓国・清州市など 6 つの都市の代表と専門家は「どのように東アジア文化都市を絆に都市間の文化交流を推進すればいいか」などの課題について交流を深めた。青島市副市长欒新氏、日本新潟市副市长浜田栄治氏、韓国清州市副市长尹在吉（ユン・ジェギル）氏などの来賓が出席した。

青島文化と東アジア文化の道

<青島社会科学院 呂紹勛博士>

青島社会科学院の呂紹勛博士は「文化繁栄、最良の地」をテーマに発言した。呂氏は「東アジア文化都市」に対する概念解釈を通じて、「東アジア文化都市」の当選都市が東アジア地域の文化先進区で、文明が集まる地でもあることを明らかにした。また、呂氏は現在の国際情勢において、「東アジア文化都市」が東アジア地域の文化発展・繁栄と交流協力が必ず通る未来の道で、東アジア文化の世界的影響力の拡大と世界文化の多様性への促進において極めて重要な意義を持っていると指摘した。

<青島大学 馮国栄教授>

青島大学の馮国栄教授は「青島文化の奥底と東アジア文化の道」をテーマに、青島の歴史文化には 10 の「中国一」があることを述べ、「青島には文化がない」という観点に反論した上で、現代においても青島文化には多くの「中国一」があることを示した。また、馮氏はグローバル化における東アジア文化が歩むべき道について述べ、「東アジア文化フォーラム」を開催し、定期的に日中韓 3ヶ国ないし東アジア全域における交流協力、対話共栄を話し合うことで、東アジアの文化ないし東アジアの経済、政治、社会発展のために共通の地域観と価値観及び最良の付き合い方と共存共栄のモデルを見出すべきだと提案した。

2014 年「東アジア文化都市」が実り多し

<中国共産党泉州市委員会 陳慶宗宣伝部長>

中国共産党泉州市委員会宣伝部長陳慶宗氏は以下のように紹介した。第一に、泉州は「東アジア文化都市」事業と「21 世紀海上シルクロード先行区」事業を地域発展の原動力と起爆剤とし、東アジア文化都市・2014 泉州イベントイヤーのシリーズイベントを展開し、「古都－古い港－新区－全域連動」文化プロジェクトを推進することで、都市建設を全面的に進化させた。第二に、都市外交は政府から民間まで全面的に広げられ、横浜と光州との 26 つの交流プロジェクトには芸術、学術、メディア、青少年など多く含まれ、さらに多くの民間交流が自主的に生まれた。第三に、「東アジア文化都市」の効果により、2014 年泉州文化産業の増加値は約 300 億元を突破し、全省（林注：福建省）の首位となり、GDP の割合は 5% を超え、初めて地域経済の柱産業となった。また、「東アジア文化都市」は観光を飛躍的に促進し、省外の観光客の宿泊先都市として泉州は初めて全省第一位を獲得した。最後に、「源和 1916 クリエイト園」は市民の「文化広場」として拡大され、一年間で 240 余りの重要な文化イベント、2 万以上の市民文化イベントと 100 余りの県域文化特色のある民俗イベントがここで行われていたため、市民らが毎日祭りを楽しんでいるように楽しくてたまらないと絶賛している。

<横浜市 中山こずゑ文化観光局長>

横浜市文化観光局長中山氏は発言で以下の通りに述べた。2014 東アジア文化都市は 3 都市間の友好交流を促進し、3 都市間の民間交流を活発させた。これまでは隣国の文化についてあまり知らなかったが、東アジア文化都市シリーズイベントを通じて直接に交流したことで、東アジア文化の「相違点と共通点」についてより一層理解できたため、持続的な文化交流イベントを通して次世代間の相互理解を促進することに努力したい。横浜市が実施したアンケートの結果によると、東アジア文化都市公演イベントへの満足度が 9 割を超え、公演・イベントへの参加によって 7 割の人が東アジア文化への関心が高まったという。

<光州広域市 蔡永鮮文化政策官>

光州広域市文化政策官蔡永鮮（チェ・ヨンソン）氏は次のように紹介した。2014 年光州市は東アジア文化都市光州開幕式、日中韓芸術祭、青少年文化交流、追憶 7080 忠状祭と光州－泉州民間観光交流等の文化交流イベントを開催し、光州の文化実力を大いに発揮した。また、文化交流を通して「友好協力都市協定」を締結し、持続的な友好協力を強固な関係網を作り、光州市が未来アジア文化の中心になる可能性を見つけた。2015 年、光州は日中韓文化大臣会合の文化交流イベント拡大の合意に基づき、「東アジア文化都市」文化イベント及びプロジェクトを共同で促進し、日中の都市を光州国立アジア文化殿堂オープンセレモニーや 2015 光州国際美術展交流などのイベントに招待する予定。蔡氏は「東アジア文化都市」が日中韓 3 ヶ国共栄のブランドで、東アジア文化都市間の文化交流を続けるべきだという共通認識を形成させ、各国が持続的な文化交流を重要な地位に置いて政策的な支持を与える必要があると指摘した。初めての「東アジア文化都市」

モデル都市になるために、光州はすでに 2015 年東アジア文化都市事業のための予算を組んでおり、持続的に東アジア文化都市間の協力事業を推進している。

2015 年「東アジア文化都市」が異彩を放つ

<青島市 欒新副市長>

青島の経済社会発展は活気に満ち溢れており、すでに中国の区域経済センターとなった。青島は都市風貌が美しくモダンで、山、海、都市が渾然一体となり、「音楽の島」、「映画都市」、「ヨット都市」という名誉を持っている。青島は文化が開放的・包容的で、儒教文化の影響を受けているものの、道家思想にも恵まれており、人文的遺跡も多く、中国で東洋文化と西洋文化が早く交じり合った都市であるため、「万国建築博覧会」の美称を持っている。また、青島は日本、韓国との交流が非常に緊密で、毎週 200 超のフライト便が行き来しており、毎年日韓から 50 万人が青島を訪れており、青島に駐在している日韓の人も 10 万人近く居る。青島は「東アジア文化都市」の名誉を非常に重視しているため、積極的に日中韓 3 ヶ国の実務的文化協力を推進し、3 ヶ国国民が相互体験の中で相互理解を深めて都市間の文化交流が増えるように努力する。2015 年、青島は主に東アジア文化都市・中国青島イベントイヤー開幕式と閉幕式、日中韓文化芸術教育フォーラムシリーズイベント、第 7 回日中韓文化大臣会合と日中韓芸術祭、青島文化ウィーク、ヨーロッパ文化首都と ASEAN 文化都市との交流などを展開する。また、第 1 回中国公共芸術展、日中韓 3 都市市民「五つの王者」芸事コンテスト、日中韓彫像展、青島国際ビール祭り、青島国際海洋祭、第 11 回全国青少年バイオリンコンテスト、日中韓ヨットレースなど特色あるイベントも予定されている。さらに、青島はこれを機会に日韓との文化貿易や文化産業協力を進めていく。最後に、欒新氏は 4 つの提案を挙げた。第一に、「東アジア文化都市」選定都市は長期的・有効的なシステムづくりを強め、東アジア文化都市ネットワークを構築すべきであること。第二に、「東アジア文化都市」のブランド発信を強め、世界の他の地域の有名な文化都市との相互交流を強化すべきであること。第三に、学術研究を強化し、東アジア文化の時代的価値を掘り出して発信すべきであること。第四に、全面的交流を推進し、文化協力のモデルとして手本効果を発揮し、経済や社会などの分野における 3 ヶ国間の全面的で多方面な協力を推し進め、選定都市の全面的繁栄や発展を促進すべきであること。

<新潟市 浜田栄治副市長>

新潟市副市長浜田栄治氏は新潟の豊かで多彩な文化を紹介した。新潟は日本本州北部に位置して日本海に瀕しており、日本国家戦略特区と環境モデル都市などの称号を持ち、日本文化庁に表彰される文化創造都市だ。新潟は食文化が悠久な歴史を持ち、日本初の食文化の国際賞を創設した都市だ。新潟の踊り文化、伝統芸術と音楽文化も非常に豊かだ。2015 年、新潟は 3 年に一度の「水と土の芸術祭」を開催し、2015 年「東アジア文化都市」の主要イベントにする。

<清州市 尹在吉副市長>

清州市副市長尹在吉（ユン・ジェギル）氏は清州の自然風貌、歴史発展と文化芸術の特徴を紹介した。清州市は「生命都市、文化都市、デジタル都市、幸福都市」という名誉を持つ都市。尹在吉氏は2015 東アジア文化都市清州のプロジェクト推進計画を紹介した。計画には開幕式シリーズイベント、清州文化ウィーク、箸フェスティバル、東アジア市民祭、清州芸術祭、世宗大王と椒井薬水祭、清州民族芸術祭、清州国際工芸ビエンナーレ、生命祭、日中韓水墨画展、日中韓クリエイト学校などのイベントが含まれている。さらに、尹在吉氏は行政、市民芸術団体、都市空港、青少年、公共文化機構間の交流を強化する提案を挙げた。